

一般国道2号 岡山市古新田～倉敷市新田における計画段階評価

1. 当該地域の課題

①国道2号における交通混雑

- 対象区間は慢性的に渋滞が発生しており、主要渋滞箇所が4箇所存在。(図1)
- 上り方向においては、古新田交差点を先頭に最大渋滞長3.9kmを確認。(図1)
- 下り方向においては、妹尾東交差点を先頭に最大渋滞長0.6km、大樋橋西交差点を先頭に最大渋滞長12.0kmと交差点で連続して渋滞が発生。(図1)

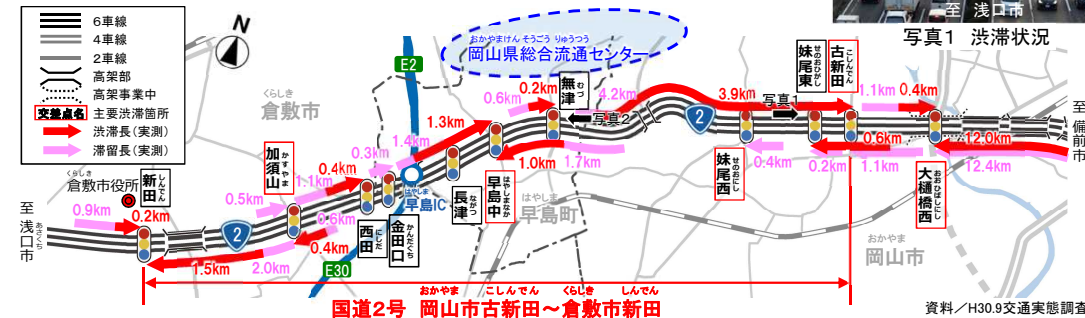


図1 渋滞長・滞留長

②多発する死傷事故

- 対象区間の死傷事故率は、全国平均値を上回る区間が多く、4年間で3件の死亡事故が発生。(図2)
- 対象区間における追突事故の発生割合は約8割で、全国と比較して高い。(図3)

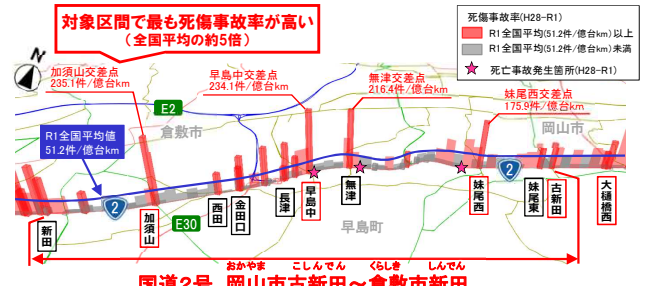


図2 死傷事故率・死亡事故発生箇所

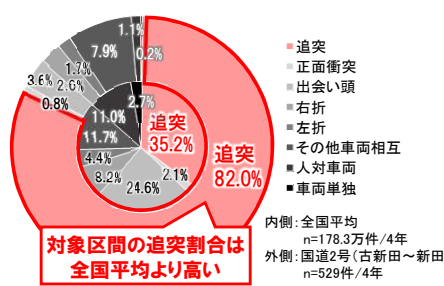


図3 事故類型

③物流活動の阻害

- 沿線地域は中四国・京阪神地域のクロスポイントであり、周辺には岡山県総合流通センターをはじめとする物流企業が多く立地。
- 対象区間沿線の物流活動においては、渋滞を避けた早期輸送を行うなど、倉庫周辺での指定時間待ち駐車が発生。
- 国道2号の渋滞により、物流活動の阻害が発生。(写真2)



渋滞により効率的な物流を阻害

④主要観光地間の周遊性低下

- 観光客数が多い「倉敷美観地区」～「後楽園・岡山城周辺」の移動は、渋滞の発生によって周遊性が低下。(図4)



図4 倉敷美観地区～後楽園・岡山城周辺の移動経路

2. 原因分析

①連続した信号交差点及び交通集中

- 岡山市～倉敷市間の移動における道路利用は国道2号に集中しており、岡山市内立体及び倉敷立体に挟まれた対象区間は交通量が多く、信号交差点も連続している。(図5)

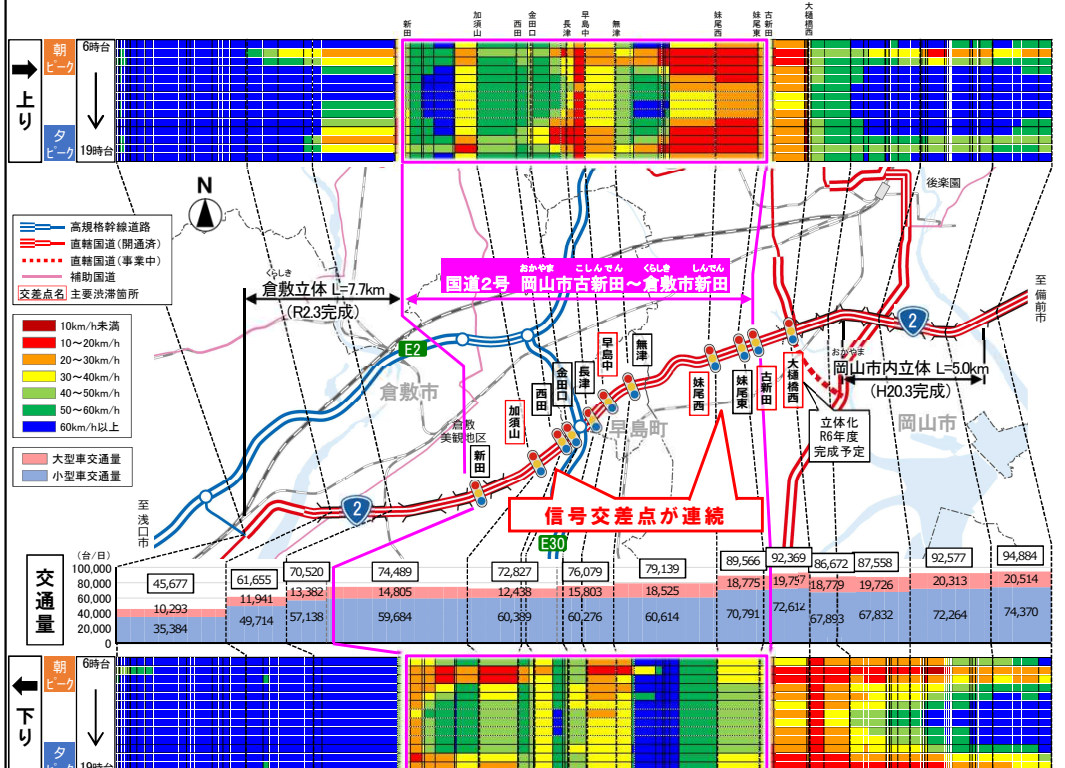


図5 交通量・旅行速度

②渋滞及び沿道や交差点からの出入り交通の発生

- 交通集中により慢性的な渋滞が発生。(図1、図5)
- 沿線に店舗が立地しており、交差点も連続していることから、沿道や交差点からの出入り交通が多く発生。

③速達性・定時性が不十分

- 渋滞により、国道2号の速達性・定時性が不十分であり、効率的な物流活動を阻害。

④主要観光地間における国道2号の定時性が不十分

- 主要観光地間の移動の7割は国道2号であるが、渋滞による所要時間のばらつきが大きく、移動時間が読みづらい。(図6)

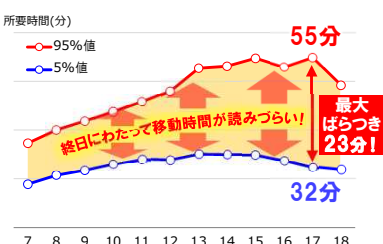


図6 所要時間のばらつき

3. 政策目標

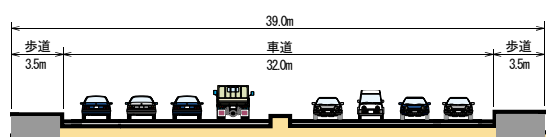
- ①交通の円滑化 ②交通安全の確保 ③産業の活性化 ④観光振興の促進

一般国道2号 岡山市古新田～倉敷市新田における計画段階評価

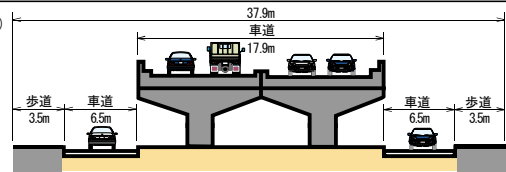
4. 対策案の検討

		【案①】平面拡幅案	【案②】部分立体案	【案③】連続立体案
		全線の拡幅 (現況:平面6車→計画:平面8車)	交差点の立体化(本線4車線高架) (現況:平面6車→計画:立体4車[側道2車])	全線の連続立体化(本線4車線高架) (現況:平面6車→計画:立体4車[側道2車])
評価ポイント		延長 約10km (改良延長 約 10.2 km)	延長 約10km (改良延長 約 5.7 km)	延長 約10km (改良延長 約 9.2 km)
道路整備による効果・改善点 配慮すべき事項	① 渋滞が緩和でき、通勤等の移動時間が短縮すること	○ 国道2号本線に 信号交差点が残存 するが、渋滞は緩和し 移動時間が短縮 する。(現況に比べて 8分短縮)	○ 国道2号本線の 信号交差点が廃止 され、渋滞が緩和し 移動時間が短縮 する。(現況に比べて 11分短縮)	○ 国道2号本線の 信号交差点が廃止 され、渋滞が緩和し 移動時間が短縮 する。(現況に比べて 15分短縮) (最も短縮)
	② 交通事故が起きにくいこと	△ 渋滞に起因する 追突事故等は減少 するが、 信号待ち車両への追突事故等は現況とかわらない 。 × 車線数の増加による片側4車線道路の車線変更時の車両の交錯が、 現況より事故の危険性が高い 。	○ 渋滞に起因する 追突事故等は削減 できる。 ○ 高架と側道で通行車両を分離でき、 走行安全性が向上 するが、 高架と側道の合流部で車両の交錯 が生じる。	○ 渋滞に起因する 追突事故等は削減 できる。 ○ 高架と側道で通行車両を分離でき、 走行安全性が最も向上 する。
	③ 物流に要する時間の短縮や、移動時間のばらつきを小さくし、産業活動を支援すること	○ 物流拠点(総合流通センター)から目的地への 速達性・定時性が向上 する。ただし、 信号交差点は残存 。(現況に比べて 2分短縮) ※総合流通センター～早島IC間	○ 物流拠点(総合流通センター)から目的地への 速達性・定時性が向上 する。(現況に比べて 3分短縮) ※総合流通センター～早島IC間	○ 物流拠点(総合流通センター)から目的地への 速達性・定時性が向上 する。(現況に比べて 5分短縮) ※総合流通センター～早島IC間
	④ 後楽園、美観地区を代表とした岡山市、倉敷市間の観光地の移動時間短縮や、移動時間のばらつきを小さくすること	○ 観光地間(後楽園～美観地区)の 移動時間が短縮 する。ただし、 信号交差点は残存 。(現況に比べて 7分短縮)	○ 観光地間(後楽園～美観地区)の 移動時間が短縮 する。(現況に比べて 11分短縮)	○ 観光地間(後楽園～美観地区)の 移動時間が短縮 する。(現況に比べて 15分短縮) (最も短縮)
	⑤ 沿道状況(騒音・大気質)が改善すること	× 騒音や大気質は 現況より改善しない 。	△ 騒音や大気質は、 立体化する交差点は改善 する。(立体化する交差点は遮音壁等を実施)	○ 騒音や大気質は、 連続高架および立体化する交差点は改善 する。(連続高架および立体化する交差点は遮音壁等を実施) (最も改善)
	⑥ 自然環境への影響が小さいこと	× 改良延長が最も長く全線拡幅に伴う地形改変が生じ、 自然環境への影響は最も大きい 。	○ 立体化する交差点周辺のみ地形改変に留まり、 自然環境への影響は小さい 。	△ 連続高架および立体化する交差点に地形改変が生じ、自然環境への影響は大きい。
	⑦ 景観への影響が小さいこと	○ 現況に比べて 景観へ影響しない 。	△ 立体化する交差点周辺は高架により 景観が悪化する 。	× 連続高架および立体化する交差点は高架により 景観が最も悪化する 。
	⑧ 沿線店舗等への立ち寄りへの影響の懸念	○ 立ち寄り客への影響は 現況とかわらない 。	△ 立体化する交差点周辺のみ、 現況より素通りが懸念 される。	× 連続高架および立体化する交差点により、 現況より最も素通りが懸念 される。
	⑨ 工事中の交通規制の影響が小さいこと	○ 全線拡幅するものの橋梁がなく、 交通規制期間は短い 。 × 全線拡幅に伴い改良延長が長く、 交通規制期間が最も長い 。	△ 交差点周辺の橋梁施工に伴い、 交通規制期間が長い 。 ○ 立体化する交差点周辺のみ改良延長が留まり、 交通規制期間が短い 。	× 連続高架および立体化する交差点周辺の橋梁施工に伴い、 交通規制期間が最も長い 。 △ 連続高架および立体化する交差点と改良延長が長く、 交通規制期間が長い 。
	⑩ 移転などが必要な家屋等が少ないこと	× 用地買収面積、移転家屋数は最も多い (約6.7万m ² 、約74件)	○ 用地買収面積、移転家屋数は少ない (約2.2万m ² 、約43件)	△ 用地買収面積、移転家屋数は多い (約3.8万m ² 、約70件)
	⑪ 維持管理に要する費用が安いこと	△ 全線拡幅により管理する舗装面積等が増加。現況より維持管理費は増加する。	△ 立体化する交差点の橋梁の管理費用が増加。現況より維持管理費は増加する。	× 連続高架および立体化する交差点の管理費用が増加。 現況より維持管理費は最も増加 する。
	⑫ 建設に要する費用が安いこと	△ 約 820～870億円	○ 約 800～850億円	× 約 1,410～1,460億円

【標準断面図】案①



案②・案③



対応方針(案) : 案② による対策が妥当

【計画概要】

- 路線名: 一般国道2号
- 区間: 岡山県岡山市南区古新田～岡山県倉敷市新田
- 概略延長: 10.0km
- 車線数: (本線)4車線 (側道)2～4車線
- 設計速度: (本線)60km/h (側道)40km/h
- 概ねのルート: 図7 案②の通り

(参考) 当該事業の経緯等

- 計画段階評価、都市計画決定の状況
 - R 1年12月: 第1回中国地方小委員会
 - R 2年1月～2月: 意見聴取
 - R 2年11月: 第2回中国地方小委員会
 - R 3年2月: 対応方針(概略ルート・構造)の決定
 - R 4年2月: 都市計画決定(変更)・告示
- 地域の要望等
 - R 2年11月: 岡山市長が国土交通省に事業化要望
 - R 2年11月: 岡山県知事が国土交通省に事業化要望
 - R 3年2月: 岡山県知事が国土交通省に事業化要望
 - R 3年6月: 岡山県知事が国土交通省に事業化要望
 - R 3年7月: 岡山市長が国土交通省に事業化要望
 - R 3年10月: 国道2号岡山バイパス渋滞対策促進期成会が国土交通省に事業化要望
 - R 3年10月: 倉敷市長が国土交通省に事業化要望

【整備案】

- (赤線): 【案①】平面拡幅案
- (青線): 【案②】部分立体案
- (紫線): 【案③】連続立体案

【凡例】

- (黒線): 高架部
- - (黒線): 高架化事業中
- (黒丸): 交差点
- (赤丸): 主要渋滞箇所

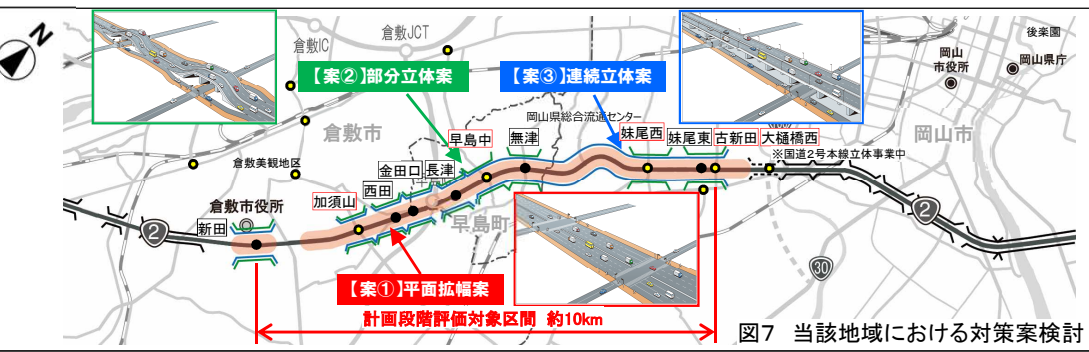


図7 当該地域における対策案検討